
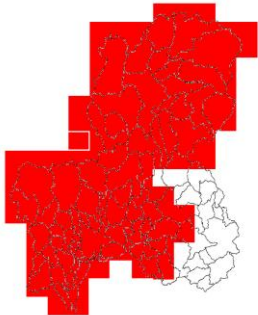


セイトカスズムシソウ	<i>Liparis japonica</i> (Miq.) Maxim.	絶滅危惧Ⅰ類
		ラン科
選定理由	園芸目的の採取圧がある。	写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	高さは20-40cm。葉は広楕円形の葉が茎に2枚付く。淡緑色または紫緑色の花を多数付ける。花被片は線形。唇弁は倒卵形で先端が尖る。花期は5月。	
生態的特徴	山地の樹林下に生える。	 <small>※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。</small>
分布状況	北海道、本州、九州に分布する。岐阜県では飛騨地方北部と美濃地方西部と中部に分布する。	
減少要因	採取の禁止。園芸目的の採取による。	
保全対策	分布情報は公表しないことが望ましい。	
特記事項		
参考文献		

文責：山崎玲子